

## 第1回兵庫県ボッチャ大会in南あわじ実施要綱

### 1 目的

年齢・性別・障害の有無等に関わらず、誰もが参加可能な「ユニバーサルスポーツ」を通じて、あらゆる人がスポーツに参加できる環境の整備に寄与することを目的に、健常者、障害者ともに手軽に参加できるボッチャ大会を実施する。

2 名称 第1回兵庫県ボッチャ大会in南あわじ

3 主催 兵庫県、公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

4 後援(予定) 洲本市、南あわじ市、淡路市、(株)サンテレビジョン、KissFM KOBE

5 協力(予定) 公益財団法人木口福祉財団  
ひょうごパラスポーツ指導者協議会

6 開催日時 令和6年2月3日(土)  
午前の部 9時30分受付 10時開始 12時15分終了(予定)  
午後の部 12時30分受付 13時開始 15時45分終了(予定)

7 開催場所 南あわじ市立文化体育館サブアリーナ  
(〒656-0534 あわじ市北阿万筒井1509-1)

8 参加資格 健常者・障害者等関係なく、小学生以上なら誰でも参加可能とする。

9 参加定員 午前10チーム、午後10チーム 計20チーム (2人1組:1チーム5名まで)

### 10 試合形式

午前と午後の2部制。

2コートに分かれて試合。1コート5チームで1チーム4試合した後、各コート最高勝率チームによる優勝決定戦(全21試合)を行い、3位は優勝チーム所属コートの2位チームとする。

### 11 競技規則

日本ボッチャ協会競技規則に準ずるが、コートの大きさは6m×6mとし、その他主催者のルールに従うものとする。

### 12 表彰

午前・午後各1~3位までのチームに記念品を授与。参加チーム全員に参加賞の贈呈あり。

### 13 保険

本大会参加者の保険は主催者が一括して加入するものとする。

### 14 申込方法

以下のいずれかの方法とする。

(1) 兵庫県障害者スポーツ協会 HP からの申込。

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20\\_000000001.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000001.html)



(2) 大会事務局へ参加申込書を郵送または持参

## 15 参加料 無料

## 16 個人情報等の取り扱い

主催者及び大会事務局は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守する。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

また、大会期間中の肖像権については、主催者に属する。大会広報及び障害者スポーツの振興に有益と認められる場合、大会期間中に撮影された写真、動画等を主催者の判断において使用する場合がある。

その他、新型コロナウイルス感染症等で保健所、医療機関等に個人情報を提供する場合がある。

## 17 その他

- ・会場は土足、裸足、スリッパ厳禁。体育館シューズを持参する。
- ・昼食は各自持参する。
- ・介助が必要な方は各自同伴で参加してもらう。
- ・用具は得点版、受付用の机は会場から借りる。ポッチャボール一式は主催者が持参する。

## 18 大会事務局

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課・公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会  
〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-10-1  
TEL 078(362)3237 FAX 078(362)9040

### <試合進行のルール>

#### 1 開始前

試合開始前に試合を行うコートを確認のうえ、定められた場所で待機するものとする。

競技アシスタントは車いすおよびランプ操作のみ可、会場には選手とアシスタント以外原則コート入場不可。ボックス内にボールを置くための台は設置可。

#### 2 競技方法等

##### (1) 試合形式

ア 先攻(赤ボール)・後攻(青ボール)をジャンケンで決める。

イ 2ゲームマッチで合計得点の多いほうを勝者とする。(同点の場合はファイナルショット)

ウ 10チームが2コート(ブロック)に分かれ1コート5チームで試合(予選リーグ)をする。  
1コート5チームで1チーム4試合した後、各コート最高勝率チームによる優勝決定戦を行う。

エ 試合の前に2分間の投球練習をすることができる。

##### ポッチャの基本ルール・ゲームの流れ

先攻(赤ボール)のチームがジャックボール(白ボール)を投げて続けて自分のカラーボールを投げる。後攻(青ボール)のチームが自分のカラーボールを投げる。ジャックボール(白ボール)から遠いチームが、相手よりも近づくか、またはボールが無くなるまで投げる。両チームが6球全て投げ終わったら審判が得点を判定する。

## (2) 違反行為

ア ラインを踏む、もしくはボックスの外に足や装飾具が設置した状態で投球する。

イ 審判の指示がある前に投球する。

ウ アシスタントが試合中にコートを見たり、競技に介入したとき。

エ 相手サイドの待ち時間中に、車いすまたはランプを調整したり、ボールに触ったりしたとき。

それ以外でも審判の判断により反則行為と認められた時はリトラクション・ペナルティ・イエローカードの複合的な対応となる。

## 3 その他

(1) 競技場内へは主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。

(2) 当日の午前・午後の部の受付は時間内に済ませること。原則として受付及び招集に遅れた選手は棄権とみなす。

(3) 選手控室はないので貴重品等は各自が責任を持って管理すること。

(4) ゴミは各自持ち帰ること。

(5) 参加人数等により試合形式を変更する場合がある。